

実施学年	6年	実施教科 (科目)	算数	実施日	H24.10.4
単元名	拡大図と縮図				
本時の内容 (項目)	方眼を使わないで、拡大図と縮図を相似の中心を利用してかく。				
本時の目標	相似の中心を利用した三角形の拡大図、縮図のかき方を理解し、その方法を使って三角形、四角形の拡大図、縮図をかくことができる。				
授業場所	6-2 教室	ICT活用時の 授業形態	一斉学習・個別学習・グループ学習		
ICT活用場面	導入・展開・まとめ・他( )		ICTの主な 活用者	教師・生徒	
活用するICT 機器	ノートパソコン 電子黒板				
ICTを活用する 目的・ねらい・予想される 効果	コンパス、定規を使用した拡大図の描き方を示す。実際に使っている用具で、大きく示したり、順番を丁寧に説明したりすることにより、描き方がより理解しやすくなる。				
児童生徒の情報活用能力を 育てる指導場面・指導内容	教師が授業で用いるために使用した資料(映像)は、著作権を侵害していないということを説明する。また、ノートや図を前に示す場合、作成者が誰なのかを示す必要があり、承諾をもらう必要があることなど、著作権について触れる。				
利用するコン テンツ名・サ イト等	・デジタル教科書(「たのしい算数 6年」大日本図書)				
参考にしたサ イト・文献 等	なし				
事前の準備	・電子黒板の準備 ・前時に学習した方法で作図した、拡大図、縮図の絵				

<p>指導計画（授業の展開）</p>	<p>○既習内容の振り返り</p> <p>○本題を把握し、課題意識をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>三角形 ABC の辺 AB、AC をのばして、2 倍に拡大した三角形 ADE をかきましょう。</p> </div> <p>○課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>点 A をつかって、拡大図を書くときのかき方を考えよう。</p> </div> <p>○個人追求</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点 A からコンパスを利用して拡大図を書く。</li> </ul> <p>○全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相似の中心を利用した三角形の拡大図の正しいかき方を理解する。(ITC の活用)</li> </ul> <p>○まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>点 A を使って、拡大図を書くときは辺を伸ばして、何倍かすればよい。</p> </div> <p>○練習問題</p>	<p>(※情報モラルの指導内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人追求で出た児童の意見を尊重しながら、デジタル教科書を活用してより正しい作図方法を定着させていく。</li> <li>・練習問題の際、理解できていない児童にはもう一度操作を見せ、理解を図る。</li> </ul>
<p>ICT を活用した授業時の教師側（指導上）の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての児童が見られるよう、机列や電子黒板の位置を工夫する。</li> <li>・実際に作図した図が、拡大した図となっていることが確認できるように電子黒板を使って提示することで、実感と充実感をもたせる。</li> </ul>	
<p>ICT を活用した授業時の児童生徒の反応</p>	<p>本時だけでなく、単元を通して電子黒板を活用し授業を行った。どのように作図をして良いか迷っていた子も、電子黒板で分かりやすく正しい作図方法を提示したことにより、正しく作図ができるようになった。</p> <p>また、電子黒板を活用した授業の経験が少ないため、興味をもって授業に取り組むことができた子が多いように感じた。</p>	
<p>ICT を活用した授業後の評価（実践の手応え）</p>	<p>黒板で作図をすると、正確でなかったり、教科書と全く同じ図を描くことができなかつたりするが、すっきりと正確な作図をすることができた。また、作図方法などは何度も動画で提示することができるため、理解しづらい児童には何度も繰り返しながら指導することができた。</p> <p>視覚的にわかりやすく、子どもの興味関心も高めることができた。さらに知識の定着を図ることもでき、とても良かったと感じている。</p>	
<p>今後の課題</p>	<p>ICT を活用した授業実践をして、子どもたちの理解を深めたり、分かりやすく説明したりできることのよさを実感し、他教科の授業でも活用を進めていきたいと感じた。実際に算数科の実践をしてからは、理科や社会科の授業でも電子黒板を活用して、実験の説明をしたり資料を提示したりするようにしている。今後も子どもたちの確かな学力の向上を図るために、活用を進めていきたい。</p>	

※情報モラルを指導したときは、その指導事項及び指導内容を記入する。